

## ●6年制学科のカリキュラムの特色

本学科が卒業認定・学位授与の方針に掲げている「地域医療や社会の期待に応え、個々の患者や生活者のニーズに対応できる薬剤師となる資質をもった人材」を育成することを目指したカリキュラム構成を取っています。具体的には、初年次にリメディアル教育を施しながら自然科学への興味を引き出し、低学年で学ぶ基礎薬学や、高学年で学ぶ高度な専門科目にスムーズに入っていけるよう工夫しています。特に臨床薬学教育には力を入れており、患者シミュレータを用いたフィジカルアセスメント実習や救命救急のトレーニング、本物の医薬品や医療機器を使用した調剤実習、模擬患者を導入したコミュニケーション演習など、臨床現場で役に立つ知識・技能・態度を身につけることを目的とする実習プログラムを組んでいます。また、本学科の教育内容は薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠し、漏れや偏りの無い教育を施すよう心掛けています。また、薬学科内のロビー・ホールには自由に利用できる机が設置されており、学生は空き時間や放課後に自発的に学習やグループ討論を行っています。

## ●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

可能な限り学生の希望する施設（病院）における実務実習ができるように配慮しています。基本的には学生の帰省先実家から通える施設での実習となりますが（山口、福岡、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄県のみ）、実習施設への通学が困難な場合には、別途宿舎を手配しています。また、実習開始前に指導薬剤師と教員、実習生による面談を含めた説明会を実施して、実務実習に臨んでいます。2022年度は、5年生64名が宮崎県、鹿児島県、大分県、福岡県、山口県、熊本県および沖縄県（薬局62施設・病院42施設）において実習を行っています。近年はコロナ禍ではありましたが、実習実習開始2週間前より実習地域への移動を完了させ、その間の県外移動の禁止の遵守や毎日の健康調査を実施しながら、指導薬剤師のご協力のもと実習生は充実した実務実習が行われました。また、実習終了後は講座・研究室単位で実務実習報告会が開催され、実習の成果を教員や後輩学生に発表しています。

## ●病院実習先・薬局実習先

調整機構により実習先を確保（宮崎大学医学部附属病院、宮崎県立宮崎病院、宮崎県立延岡病院など）42カ所  
調整機構および各県薬剤師会により実習先を確保（延岡医薬分業支援センター、ファン薬局県立延岡病院前、北小路調剤薬局、平和堂調剤薬局南店、さとかん薬局山月店、アイン薬局おおぬき店、丘

の上薬局古城店、たかし薬局など）62カ所

## ●アドバンスト(臨床)実習

九州保健福祉大学薬学部薬学科では、2005年度に薬物療法の有効性の確認や副作用の早期発見に必要となるバイタルサインやフィジカルアセスメントの技能を学ぶ実習を全国の薬学部へ先駆けて導入しました。この実習では、独自に作成した様々な疾患シナリオをシミュレータで再現し、病態や薬物の投与によって変化する脈拍、血圧、心音、呼吸音、腸音などの聴取方法および得られた情報の評価について学びます。また、薬学科では多数のシミュレータを保有しているため、小人数のグループで時間をかけて学ぶことができます。さらに、本学科ではICTを導入した双方向型のインターネット教材など新しい教育的試みを導入しています。最近では、筋肉注射シミュレータを使用した皮下・筋肉注射体験や携帯型超音波エコーを使用した膀胱・肺炎ファントムの病態評価を行っています。また、ADME人形で体内の見えない薬をイメージで伝える実習を行っています。

## ●多職種連携教育の具体的な内容

回答なし

## ●多職種連携教育を行う医療施設名

5年生時の実務実習期間中、それぞれの実習先（上記）で多職種連携の実態を体験しています。

## ●薬剤師国家試験への取り組み

国家試験対策委員会を中心に、できるだけ低学年からのデータを多く集め、卒業時のデータと照らし合わせて解析することにより、様々な国家試験対策プログラムを作成できるよう、毎年改善を行っています。現在は、4年次のCBTに関する試験の得点率がそのままストレート卒業と国試合格に連結するため、3年生の後期試験終了後から、オンライン教材を利用したCBT対策の自己学習を始めてもらっています。オンライン教材での自己学習量（復習に相当する）が多い学生は、CBTに関する試験での得点率が高くなります。オンライン教材の学習量に関わらず、CBTに関する試験の得点率が高い学生は、ストレート卒業さらに国家試験の合格率も良いため、このポイントにも力を注いでいます。6年次に開講される薬学総合演習では、各教員が自分の専門領域の国家試験問題を解析し、重要事項に加え、頻出事項や出題予想問題などを中心に演習を行います。特に成績中下位者に対して、レベルアップ補講も行い、卒業率の向上に努めています。実際、平成15年4月の学科開設から令和

3年3月卒業生（総数：1,720名）までの本学の累積薬剤師国家試験合格率は95.0%（合格者総数：1,634名）にのぼっています。

## ●卒業研究について

5～6年次に、配属された講座・研究室において卒業研究（特別研究Ⅰ・Ⅱ）を行います。指導教員は、学生個人個人の能力や適性、興味に合わせてテーマを提示し、できるだけ学生に選択してもらっています。研究テーマは、各講座・研究室の教員の専門分野に関する内容になります。物理系・化学系・生薬系・細胞生物学系、分子生物学系、薬物動体系、病態薬物治療系、薬理系、臨床系など多岐にわたります。特別研究では、未来の薬剤師に必要な考える力を養ってもらえるように指導します。6年次の秋に、学生全員が研究成果をまとめて、卒業論文を作成し、研究内容の発表を行います。卒業研究を通して、問題発見・解決能力、情報収集能力、英文読解能力、論理的思考能力、文章構成力、プレゼンテーション能力などの養成を行います。これらの能力が磨かれると、医療情報の収集・解析、同僚や他の医療職とのディスカッション、服薬指導など、様々な薬剤師業務を遂行する上で頼もしい武器となるはずですよ。

## ●入試の変更点

新たに一般選抜前期A方式【総合評価型】と一般選抜前期C方式【外部資格活用型】入試を増やした。【総合評価型】は小論文を必須とし、学習成績の状況を点数化します。【外部資格活用型】は英語の外部資格試験が必須です。

## ●入試に合格するためのアドバイス

学校推薦型入試や総合選抜入試等、多様な入試制度がありますので、ご自分の得意な分野で入試を受験されてください。本学の一般入試では、医薬品の構造や人体への影響などを理解するための基礎となる「化学」の知識が重要ですので、「化学」を必須としております。オープンキャンパスやガイダンスへ参加してくれた学生には赤本（過去問）を配付しておりますので、ぜひ参考にして勉強されてください。

## ●過去問を公開しておられますか

赤本を作成しているのみ。

## ●面接や小論文について教えてください

面接質問内容は非公表

## ●大学独自の奨学金制度

沖縄県及び離島出身者に対し、家賃補

助制度をおこなっております。詳細は本学ホームページをご確認ください。

## ●地域のアパート・マンションのモデル家賃

学生用ワンルームアパートの相場は25,000円～50,000円です。

## ●オープンキャンパスの日程

オープンキャンパス

2023年6月18日・7月23日・8月11日

キャンパス見学、模擬授業、模擬実習、入試相談、学生生活相談、学食体験等

2024年3月23日

キャンパス見学、模擬実習、入試相談、学生生活相談等